

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名	下水道汚水施設維持管理事業(ポンプ場)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	水道局	課長名 坂本 卓博
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化		所属課	上下水道課	担当者名 浪崎弘太郎、中山義崇
	施策の柱	61	排水の浄化		所属班	下水道班	(内線) 5248
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	下水道法 水質汚濁防止法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	流域関連公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業として整備した汚水中継ポンプ場6箇所(大池、小池、筒井、村廻、すずかけ台、杉並台)及びマンホールポンプ場58箇所(流開公共:21箇所、特環公共:29箇所、農排:8箇所)を適切に運転及び維持管理する事業である。 運転及び水質検査並びに施設の維持管理は、専門業者に委託しているが、委託した維持管理状況の確認、指示、指導及び法定検査への対応などを市で行っている。 発電設備のある施設への燃料調達、機器の故障や不具合に対する対応はその都度、修理等の発注を行っている。供用開始から20年以上を経過する老朽化した設備が増えており、故障による補修や更新が必要となる箇所が増える傾向にある。
【業務の流れ】	【故障等への対応】①故障報告受付、②現地調査(緊急であるかの判断)及び改善策の検討・決定、③修繕工事契約事務、④現場打合せ、⑤竣工検査事務、⑥支払事務 【施設の維持管理委託への対応】①現況確認、②維持管理業務設計・積算事務、③維持管理業務契約事務、④月毎の維持管理報告の確認と検査、⑤月毎の支払事務、⑥その他運転管理業務の確認及び指示・指導 【その他】月ごとの水道料金、電気料金の支払い事務、消耗品の発注、燃料の適宜調達事務、法令検査等対応事務
【主な予算費目】	備消費費、光熱水費、動力費、修繕費、通信運搬費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、保険料
【意見や要望】	老朽化による故障が増えており、維持管理業者より、耐用年数を超えた施設を計画的に機器更新を行ってほしいとの要望があげている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプ施設の運転管理・保守点検(専門業者委託)	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行う維持に必要な、水光熱費や動力費の支払い		汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプ施設の運転管理・保守点検(専門業者委託)
		設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行う維持に必要な、水光熱費や動力費の支払い
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:委託件数(保守、点検)	件	ポンプ施設にかかる工事請負費の減(故障による修繕のみ当事業へ計上)
イ:補修件数	件	(故障により交換となるポンプ等は資本的支出の建設改良費へ計上する)
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプ場		(単位) 箇所
		→ア:汚水中継ポンプ場数
		イ:マンホールポンプ場数
		箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
支障なく稼働できる。		(単位) %
		→ア:
		イ:不具合やトラブルへの対応率
		%
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画
不具合やトラブルの発生件数及びその対応率をみることで、汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプ場の機能が保持され、支障無く稼働できたかどうかを判断できると考えた。		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込
①活動指標	ア 件		5	10	10	10	10	10	10	10
	イ 件		14	14	15	16	20	20	20	20
②対象指標	ア 箇所		6	6	6	6	6	6	6	6
	イ 箇所		56	58	58	58	58	58	58	58
③成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	27,185	46,490	49,968	49,314	54,529	57,000	57,000
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
人件費	(A)事業費計	千円	27,185	46,490	49,968	49,314	54,529	57,000	57,000	57,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	5	5	8	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	780	950	950	960	950	950	950	950
(B)人件費計	千円	0	3,758	3,784	3,784	3,784	3,784	3,784	3,784	
トータルコスト(A)+(B)	千円	27,185	50,248	53,752	53,098	58,313	60,784	60,784	60,784	

事務事業名	下水道汚水施設維持管理事業（ポンプ場）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 施設に精通した専門業者に業務を委託し適切な運転管理、保守及び点検を行ったこと、また、各設備の故障や不具合に対し、適切な改善策を決定し、優先度を判断して効率的かつ的確な修繕を行ったことにより目標を達成できた。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 日常の点検管理等により施設の状態を把握しており、突発的な不具合に対して適切な補修等に対応することにより、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 老朽化した施設の改善必要箇所を事前に把握することにより、不具合の発生や故障箇所を減少させ、円滑な運転管理につなげているが、施設の機能が保持されることが成果であり、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する他の下水道事業等の維持管理事業があり、作業的な連携は既に行っている。しかし、対象施設が明確に分けられており、現時点での統廃合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現状でも他の類似施設と連携して最小の事業費で運転管理を行っており、これ以上の削減の余地はない。さらに、設備の老朽化が進み、補修や改修に要する経費は増加していくと考えられる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現状でも最小の人員で、他の事業との兼務により取り組んでおり、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志市下水道条例に基づき、受益者から使用料を応分負担して頂いており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の運転及び維持管理業務のほとんどを専門業者に委託しており、その財源は使用者からの使用料である。技術的な専門性や緊急時の即時対応など、信頼性及び安全性の観点から、現時点で地域や住民に移行することはできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

緊急を要する修繕等、急な故障にも適切に対応でき、施設の機能が保持され、支障無く稼働できた。電気や機械など、特殊な設備が多く、不具合箇所の早期発見及び計画的な更新を行うため、専門業者による保守点検にも取り組む必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						